

高等
小學

修身

編

香月旋經編纂

貳

K120.1
37.7
2

K120.1

37.7

2

香月起經編纂

高等小學
修身編

版權所有

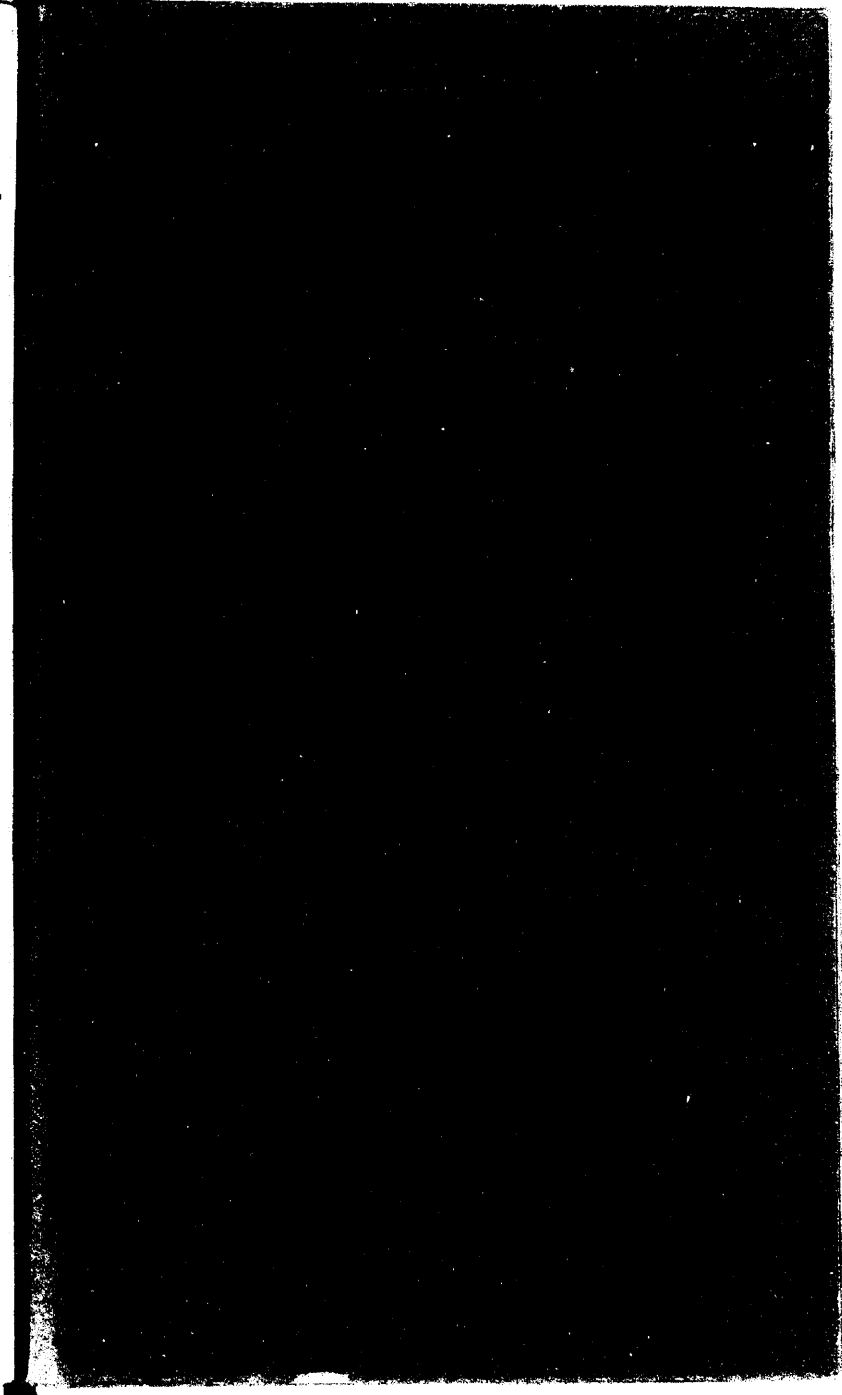
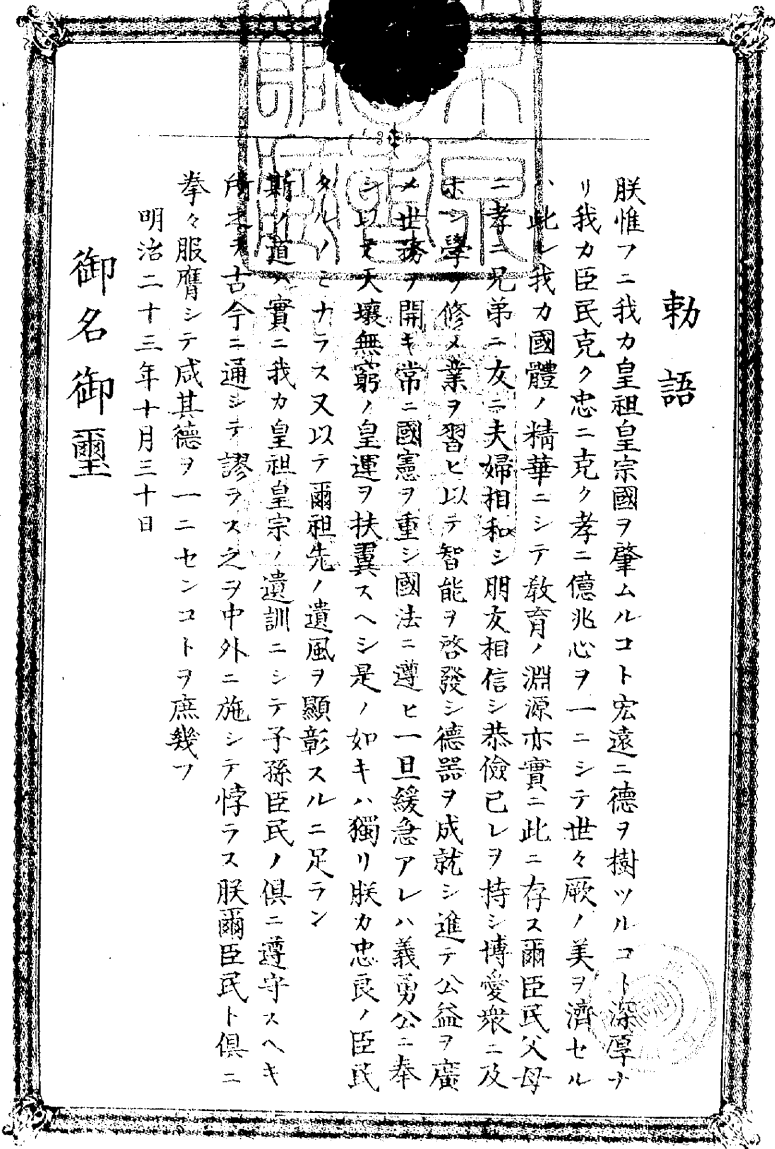
磊落堂藏版

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナ
 リ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ徳兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル
 此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母
 兄弟之友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及
 修業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣
 修業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣
 開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉
 大壞無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民
 ナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
 實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ
 所也古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
 拳々服膺シテ成其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

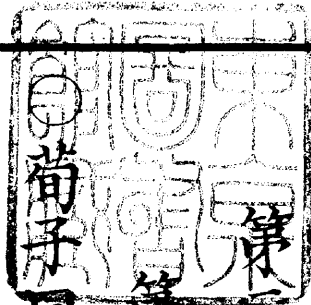
明治二十三年十月三十日

御名御璽



高等小學修身編卷之二

香月恕經 編纂



第二期

第一章

學問

附立志

荀子曰ク。木繩ヲ受クレハ直ク。金礪
ニ就ケハ利シ。君子博ク學ビテ日ニ己
ヲ三省スレハ。知明カニシテ。行ヒ過學

ナシ。

○西國立志編ニ曰ク。學問ヲ爲スニハ。工夫精密ナルヲ要シ。解語透徹ナルヲ要ス。

○初學知要ニ曰ク。輕惰ニッノ者ハ。學者ノ大病ナリ。輕キ者ハ。未得ザルヲ以テ既ニ得タリト爲シ。惰ル者ハ。悠緩ニシ

テ進ムコト能ハズ。

○言志錄ニ曰ク。朝ニシテ食セザレハ。晝ニシテ飢エ。少クシテ學ハザレハ。壯ニシテ惑フ。飢ウル者ハ猶忍フベシ。惑フモノハ奈何トモスベカラズ。

○劉氏人譜ニ曰ク。學者ハ心術ヲ先ニシ。文藝ヲ後ニス。先本ヲ敦クシテ。後ニ

仁ヲ施ス。如シ孝弟虧ルコトアラハ。才
華世ニ震フト雖。重ズルニ足ラズ。

○顔氏家訓ニ曰ク。數十卷ノ書ヲ讀メ
ハ。便チ自ラ高大ニシテ。長者ヲ凌忽シ。
同列ヲ輕慢スル者アリ。此ノ如キハ。學
ヲ以テ益ヲ求メ。今反テ自ラ損ス。學ナ
キニ如カズ。

○管子曰ク。先生教ヘヲ施シ。弟子是則
フ。温恭ニシテ自ラ虚シクシ。受ル所是
極ム。

○周官ニ曰ク。功ノ崇キハ惟志シ。業ノ
廣キハ惟勤メ。惟克ク果斷ナレバ。乃チ
後艱ナシ。

○西國立志編ニ曰ク。剛毅ノ心ハ。類敏

修身錄 卷之二
ノ才ニ比スレバ。其人ヲ成就スルコト。
多分ニ居ル。

○又曰ク。何等ノ藝業ニ限ラズ。其絶妙
極美ノ地位ハ。懶惰ナル人ノ。能ク達ス
ル所ニ非ズ。人ヲシテ富饒ナラシムル
モノハ。他ナシ。勤勉ノ手ト勤勉ノ心ト
と。

○那破翁曰ク。不能ト云フ字ハ。愚人ノ
字書ニ見ユルノと。

第二章 修養

○遵生八牋ニ曰ク。徳ハ才ノ主。才ハ徳
ノ奴ナリ。才アリテ徳ナキハ。家ニ主ナ
クシテ。奴事ヲ用フルガ如シ。

○慎思録ニ曰ク。平心和氣ハ。是レ身ヲ

養ヒ徳ヲ養フノ工夫ナリ。

○朱子曰ク。己_レガ心ヲ盡スヲ忠トシ。己ヲ推シテ人ニ及ボスヲ恕トス。コレヲ己ニ施シテ願ハズンバ。亦人ニ施スコト勿レ。

○西國立志編ニ曰ク。言行一致。内外間テナキハ。品行ノ信實ナル本質ナリ。

○左傳ニ曰ク。自ラ欺カザル者ハ。人欺クコト能ハズ。

○禮記ニ曰ク。凡ソ人ノ人タル所以ノ者ハ。禮義ナリ。禮義ノ始メハ。容體ヲ正シクシ。顔色ヲ齊ヘ。辭令ヲ順ニスルニ在リ。

○程子曰ク。事ノ至テ近小ニシテ。繫ル

所至テ大ナル者ハ。言語飲食ニ過グル
ハナシ。

○中論ニ曰ク。人ノ已^レヲ信ゼンコトヲ
欲セバ。微シク言テ篤ク之ヲ行ヘ。

○貝原益軒曰ク。寒ヲ禦グハ。裘ヲ重ヌ
ルニ若クハナシ。謗リヲ息ムルハ。自ラ
修ムルニ若クハナシ。

○新論ニ曰ク。凡ソ人ノ害ニ於ケル。蜂
蠆蚊虻ハ。之ヲ驅ルコトヲ知ル。嗜欲ハ心
ヲ攻メ。正性ヲ顛倒スルニ至テハ。則^チ知
ラス。

○佐藤一齋曰ク。人ハ恥^チナカルベカラ
ズ。又悔^イナカルベカラズ。悔ヲ知レバ悔
ナシ。恥ヲ知レバ恥ナシ。

○洗心輯要ニ曰ク。過チアリテ。悔ルコトヲ知ル者ハ。君子タルヲ失ハズ。過チヲ知リテ。非ヲ遂ゲル者ハ。其レ小人歟。○陸桴亭曰ク。過チヲ改ムルノ人ハ。天氣ノ新ニ晴ル、ガ如ク。我自ラ快シ。人之ヲ見ルモ亦喜ブベシ。

第三章

家倫

附勤儉

○孝經ニ曰ク。天ノ時ニ因リ。地ノ利ニ就キ。身ヲ謹ミ用ヲ節シテ。以テ父母ヲ養フ。此レ庶人ノ孝ナリ。

○禮記ニ曰ク。孝子ノ深愛アル者ハ。必和氣アリ。和氣アル者ハ。必愉色アリ。愉色アル者ハ。必婉容アリ。

○孔子曰ク。今ノ孝ハ。是レ能ク養フヲ

謂フ。犬馬ニ至ルマデ。皆能ク養フコトアリ。敬セズンハ。何ヲ以テ別タンヤ。

○論語ニ曰ク。弟子入テハ則孝。出テハ則弟。謹デ而信。汎ク衆ヲ愛シテ。而テ仁ニ親ヅキ行テ餘カアレハ。則以テ文ヲ學ブ。

○曾子曰ク。近キ者親マザレハ。敢テ遠キヲ求メズ。小ナル者審カナラザレバ。敢テ大ヲ言ハズ。

○勸善訓蒙ニ曰ク。師ハ。我レニ善教善規ヲ授ケ。又學術ヲ教ヘテ。我が資益ヲ爲シタル者ナレハ。父母ニ等シク。之ヲ敬愛シ。之ニ順從シテ。其恩ヲ忘レザルベシ。

○孟子曰ク。仁人ノ弟ニ於ケルヤ。怒リヲ藏サズ。怨ミヲ宿メズ。之ヲ親愛スルノミ。

○又曰ク。徐カニ行テ長者ニ後ル。之ヲ弟ト謂フ。疾ク行テ長者先タツ。之ヲ不弟ト謂フ。

○慎思錄ニ曰ク。業ヲ勤ムル者ハ。怠惰

以テ時ヲ失ハズ。用ヲ儉スル者ハ。奢侈以テ財ヲ敗ラズ。

○倍根ベイコン曰ク。節儉ノ要道ハ。小少ノ利ニ意ヲ注カンヨリハ。小少ノ費エヲ省クニ若カズ。

第四章

處事

附交際

○韓詩外傳ニ曰ク。道近シト雖。行カザ

レバ至ラズ。事小ナリト雖。爲サズレバ成ラズ。

○論語ニ曰ク。速カナランコトヲ欲スル無レ。小利ヲ見ル無レ。速カナランコトヲ欲スレバ。則達セズ。小利ヲ見レバ。則大事成ラズ。

○ゲーテ曰ク。今日爲サレサル所ノ事

ハ。明日モナサレズ。

○西洋古言ニ曰ク。成ル時ニ爲サザル人ハ。爲ス時ニ成ラズ。

○自娛集ニ曰ク。艱難多事ハ。憂フベキニ非ズ。宴安ハ鳩毒ナリ。之畏ルベシ。

○論語ニ曰ク。人遠キ慮リナケレバ。必ズ近キ憂ヒアリ。

○立志金言ニ曰ク。困難愈甚シケレバ。愈多ク勞苦スベシ。危險愈甚シケレバ。愈多ク勇氣ヲ顯ハスベシ。

○書ニ曰ク。厥初ヲ慎ミ。厥終リヲ惟ヘバ。終ニ以テ困マズ。

○費元祿曰ク。能ク煩シキニ耐ヘバ。天下何事カ做スベカラザラン。

○セシル曰ク。多ク事ヲナスノ捷徑ハ。他ナシ。卽時ニ一事ヲ爲スナリ。

○品行論ニ曰ク。常ニ勞作シテ已マズ。職業ノ繁多ナルヲ厭ハズ。世上ノ務メニ任ジ。他人ト交通シ。事實ニ砥礪スルハ。人生ノ主義ナリ。

○西洋古言ニ曰ク。智者ノ後ニ隨テ行

ク者ハ。亦智者ト稱スベシ。惡人ト事ヲ共ニスル者ハ。愚人タルコトヲ免レズ。○支那古諺ニ曰ク。道遙カニシテ。馬力ヲ知リ。事久ウシテ。人心ヲ見ル。

○願體集ニ曰ク。約ニ赴クニハ。太ダ遅キコト勿レ。衆賓皆至テ。獨リ我レヲ俟ツトキハ。則チ厭フ者獨リ主人ノミナ

ラズ。

○慎思錄ニ曰ク。凡ソ客タル者ハ。故アルニ非ザレバ。緩坐シテ時ヲ費シ。主人ヲシテ倦怠セシムベカラズ。

第五章 忠愛

○名分大義說ニ曰ク。我が國ハ。開闢以來今ニ至ルマテ。君臣父子自ラ定マリ

テ名分大義既ニ立チ。君ハ。則萬世不易ノ君ニシテ。臣民モ。亦萬世不易ノ臣民ナリ。

○有徳公曰ク。天子ヲ尊ミテ忠ヲ盡クシ。父母ヲ敬ヒテ孝ヲ致スハ。人タルモノ、本分ナリ。

○馬融曰ク。孝ハ忠ヲ俟テ而テ之ヲ成ス。君親ノ恩ニ答ヘ。臣子ノ分ヲ明カニスル所以ナリ。

○忠經ニ曰ク。善ハ。忠ヲナスヨリ大ナルハナシ。惡ハ。不忠ヨリ大ナルハナシ。○明太祖曰ク。古ヨリ忠臣義士ハ。生ヲ捨テ、義ヲ取り。身没シテ而シテ名存ス。

○バシユロー曰ク。國民ハ。カヲ護國ニ盡スノ義務ヲ有ス。

○忠經ニ曰ク。祇ミテ君ノ法度ヲ承ケ。孝弟ヲ其家ニ行ヒ。稼穡ニ服勤シテ。以テ王賦ニ供スルハ。此レ兆人ノ忠ナリ。
○張揚園集ニ曰ク。賦ヲ輸シ役ニ應シ。カヲ勉メテ事ニ從フハ。義ノ當ニ然ル

ベキ所ナリ。卽シ人ニ先ダツコト能ハザルモ。必ず後ルベカラズ。

○斯邁爾士曰ク。所謂開化文明トハ。其國ノ人民男女老少。各自ニ品行ヲ正クシ。職業ヲ勉メ。藝事ヲ修メ善クスル者ノ合集シテ。開化文明トナルナリ
○フリツケ曰ク。若シ事ノ。汝ノ一身ニ

益アルモ。汝ノ一家ニ害アラバ。汝宜シク自己ノ益ヲ舍テ、一家ノ益ヲ謀ルベシ。若シ事ノ。汝ノ一家ニ益アルモ。汝ノ全國ニ害アラバ。汝宜シク一家ノ益ヲ舍テ、全國ノ益ヲ謀ルベシ。

高等修身編卷之二終

明治廿五年三月二十日印刷
全 年 全 月 廿 一 日 出 版
版權登録済

壹ノ卷九 錢
二ノ卷八 錢五厘
三ノ卷八 錢五厘
四ノ卷九 錢

發行兼
印刷者

林 芥 介

福岡縣福岡市博多中島町四十番地

編纂者

香 月 恕 經

福岡縣那珂郡住吉村大字春吉百四十三番地

